

# 広告

企画・制作 LEXUS NEW TAKUMI PROJECT 実行委員会



スーパーバイザー  
小山 薫堂氏

1964年6月23日 熊本県天草市生まれ。日本大学芸術学部放送学科卒。「料理の鉄人」や「ニューデザインパラダイス」、映画「おくりびと」など数多くのヒット作品の企画・構成に携わる。「くまモン」の生みの親でもある。



1月17日、プレゼンテーションにて

「伝統を守りながら「新しい」感覚やテクノロジーを吹き込む。地域」の特性を深めながらその魅力を「世界へ広く発信する。LEXUSが掲げる「二律双生」を、地方創生×モノづくりの視点で実現するプロジェクト。」

徳島県選出の匠、シャツ職人・島本淳一さんのモノづくりへかける思いと完成した作品を紹介する。

本プロジェクトは2016年、放送作家として「料理の鉄人」などの多くのヒット番組を手がけ、またくまモンの生みの親でもある小山薫堂氏をプロジェクトのスーパーバイザーに迎え、隈研吾氏（建築家、東京大学教授）、生駒芳子氏（ファッション・ジャーナリスト）、アート・プロデューサー）、下川一哉氏（意匠と匠研究所）らをサポートメンバーに発足。

## レクサスが日本全国の「匠」のモノづくりを応援

「伝統を守りながら「新しい」感覚やテクノロジーを吹き込む。地域」の特性を深めながらその魅力を「世界へ広く発信する。LEXUSが掲げる「二律双生」を、地方創生×モノづくりの視点で実現するプロジェクト。」

昨年年度は、52名の匠によるプロダクトが誕生。若き匠の挑戦が刻まれたプロダクトは、ふるさと納税の返礼品への採用や、ロックフェラー家主催のチャリティイベントへ出品されるなど注目を集め、匠自身もTVやWebメディアへの掲載など目覚ましい活躍を見せている。



プレゼンテーションで発表の様子

# 伝統は定番となる。日常に溶け込む藍染シャツ

島本淳一 徳島／シャツ職人

### シンプルな見た目と細部へのこだわり

シャツ職人の島本さんがつくったプロダクトは、雲のような迷彩柄をジャガード織で施した藍染シャツ「虚空（こくう）」。

「迷彩柄を入れてはどうか？」などのアドバイスを受け、プロダクトのイメージを明確にした。



迷彩ジャガード織の布と柄案

島本さんは苦労した点に、柄のバランスを上げた。迷彩ジャガード織は、サテンやツイル、平織りを混ぜて模様をつけている。光沢の出る部分とそうでない部分のバランスには特にこだわったという。



島本さんの工房



完成プロダクト／藍染シャツ「虚空（こくう）」



完成プロダクト／藍染シャツ「虚空（こくう）」

「3つ穴白蝶貝を施した。ボタン穴を二等辺三角形にし、糸の巻き方は根巻きを施した鳥足付けにして、ボタンの留め外しがしやすいようにした。袖口の剣ポロ部分にはボタンをつけず、コンパクトにして、着やすさにこだわった。また、裾は機械で一気に巻かず、アイロンワークで丁寧に巻き、巻き上がりにくくしている。



商談会の様子

「縫い糸はコットン糸を使用する方法と、ポリエステル糸を使用する方法がある。コットン糸は藍染で染色できるが、強度が弱く、肩周りなど強度が必要な部分が切れやすいという欠点がある。一方、ポリエステル糸は、切れにくく丈夫であるが、染めることができないため、シャツの色落ちや染め直しの際に、違う色になってしまいう点がある。また、多色染めシャツなどには使用できない。今後制作する製品版では、ポリエステル糸を使用する予定だが、長く着ていただけの一着をつくるため、試行錯誤を繰り返していきたい」と話す。



島本さんの工房



エリア・コンサルティングにて



藍染シャツの試作品

島本淳一 徳島／シャツ職人  
大阪成蹊大学芸術学部卒業後、パターン専門会社でアシスタントとして働きながら、マロニエファッション専門学校夜間部で学ぶ。その後高級服（プレタポルテ）の会社にパターンアシスタントとして入社。2012年徳島に戻り、スカート中心の衣服制作の「TRIANGLE」をはじめ。2015年にメインをスカートからシャツに切り替え、徳島市末広で店舗を構える。

